

料金後納
郵便

IDEC

株主通信
2015年3月期 第3四半期
業績のご報告

証券コード 6652

IDEC株式会社

http://jp.idec.com

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

お問い合わせ先 0120-782-031 (通話料無料)

返送先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

濡れている場合は乾燥させてからはがしてください

こんなところにIDEC

安心・確実をサポートする
バーコードリーダー

今回は、病院や介護施設関係者から注目を集めている、株式会社
中島製作所様の配膳用マイクロ波再加熱カート「ミールシャトル」
にご採用いただいた事例をご紹介します。

マイクロ波再加熱カート「ミールシャトル」



写真②
φ22 CWシリーズ
フラッシュシールドスイッチ

写真①
QD2130/CCD式
ハンドヘルドバーコードリーダー

中島製作所様では、病院・介護施設の食事配膳向けに、業界初のマイクロ波再加熱カート「ミールシャトル」を開発されました。「ミールシャトル」は患者・入所者によって異なるメニューや食量に対応するため、配膳トレーの段ごとに加熱が可能になっていますが、その設定作業を効率化するため、食札のバーコードを読み取り、自動で加熱設定を行う「らくらくバーコード機能」を搭載しています。

今回その読み取り用としてご採用いただいた、バーコードリーダー「QD2130」は、軽量・コンパクトで快適な操作性を実現しているほか、バーコード読み取り完了を緑色スポット光の表示で目視確認できる「グリーンスポット」機能により、安心・確実な読み取りをサポートしています。この機能は、消音設定にしても緑色スポット光で確認できるため、静寂な空間での使用にも最適と評価をいただいています。

ご採用いただいた製品のご紹介

QD2130/CCD式ハンドヘルドバーコードリーダー(写真①)

ワイドな読み取りやさまざまなバーコードの読み取りが可能のほか、世界で唯一の特許技術「グリーンスポット」機能を搭載しており、静寂を必要とする病院・学校・図書館などでの使用に最適です。



φ22 CWシリーズ/フラッシュシールドスイッチ(写真②)

パネル前面における突出量を抑えたスタイリッシュなデザイン(グッドデザイン賞受賞)と、機械の小形化を実現できるようにパネル内に占めるスペースのクラス最小(最短)レベルを実現した押ボタンスイッチです。



営業担当者の声

制御コンポーネンツ営業本部 九州エリア 第1チーム 梅木 真

医療や介護の現場では、効率性もさることながら、安心・確実性が最も重要視される要素であるため、他社にない「グリーンスポット」搭載製品を提案し、ご採用いただきました。

IDECグループはこれまでFA(ファクトリー・オートメーション)向け製品を中心に開発・販売していましたが、今後は医療などFA以外の分野へもさまざまな製品・サービスを提案してまいります。



ご採用いただいたポイント

- 読み取り完了が目視で分かるグリーンスポット機能
- 軽量・コンパクトで快適な操作性
- 耐落下衝撃1.5m対応

お客さまのご紹介

株式会社 中島製作所

大正14年創業の株式会社 中島製作所様は、鉄工業を祖業に、設計から板金加工、機械加工、プレス加工、さらに組立加工まで一貫加工体制で取引先から高い信頼を得られております。「人を活かし、会社(社会)を活かす」社是のもと、お客さまの喜ばれる製品を作り、社会に貢献しておられます。

OPEN

TOPICS IDEC自社開発の自動認識機器製品の発売開始

近距離（35mm）読み取りと小型化を同時に実現



IDECグループでは、イタリアのDATALOGIC社を戦略的パートナーとして自動認識機器事業に注力しておりますが、このたび初の自社開発製品を発売いたしました。今回開発した固定式1次元CCDスキャナ「WB1F形」は、医療分析装置への組み込みをターゲットとした製品で、競合品に比べ体積比で約40%と圧倒的な小形化を実現したほか、近距離での読み取りが可能で、あらゆる方向に取り付け可能なデザイン、など使いやすさにも配慮した製品となっています。

IDECの自動認識機器事業は、医療過誤撲滅といった安全ニーズの高まりや、病院経営の効率化などを背景に需要の拡大が見込まれる医療分野を重点市場として捉えております。今後も他社にないユニークかつ高性能な製品を投入し、市場における一定のポジションを確保したいと考えております。



医療分析装置における各種ラベルの読み取りに最適

株主の皆さまへ



郵便がき

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年3月期第3四半期の連結業績は、主力である制御用操作スイッチや制御用リレーなど制御機器製品の売上が好調に推移しました。また、プログラマブルコントローラや今年度から本格的に事業を開始した自動認識機器製品などの制御装置およびFAシステム製品の販売も、前年を上回る水準で推移したことに加え、産業用太陽光発電関連ビジネスなど環境関連製品の販売も伸長しました。

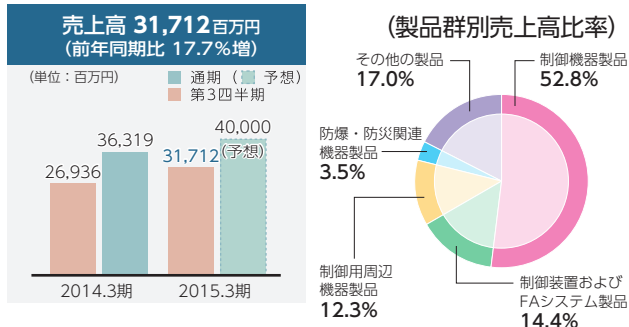
この結果、売上高は317億1千2百万円（前年同期比17.7%増）となりました。利益面では、主として増収効果により営業利益は21億7千万円（前年同期比35.0%増）、純利益は16億3千5百万円（前年同期比65.0%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2015年2月

代表取締役会長兼社長 船木俊之

DATA 業績の概要（第3四半期）



売上概要

国内

制御用操作スイッチや安全関連製品など、制御機器製品が前年を上回る水準で推移し、環境関連製品や自動認識機器製品の販売も伸長しました。

海外

主に北米・中国において、制御用操作スイッチ、制御用リレーなどの制御機器製品や、プログラマブルコントローラなどの制御装置およびFAシステム製品の販売が伸長しました。

